

# 西都北小学校開校準備委員会ニュース

第7号 令和4年8月5日発行

令和5年4月に開校する新設小学校の開校準備を円滑に進めるため、「西都北小学校開校準備委員会」の第7回会議が7月20日（水）に開催されました。  
今回の会議では、提案された校歌、校章が承認されました。

校歌・校章ともに、学校教育目標と令和3年度に実施した児童・保護者・地域を対象としたアンケート結果を事前に制作者にお伝えし、それを踏まえて制作していただきました。

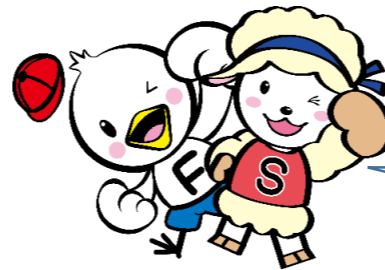
## 校歌について

### ○作詞・作曲者 MOCA氏（ベリーグッドマン）

3人組音楽グループ「ベリーグッドマン」のボーカルとして活動中。新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止された全国の高校球児を激励するため、阪神甲子園球場でスタジアムライブ配信等を開催するなど、数多くの応援ソングを作曲している。また、教員免許を取得しており、以前から校歌の制作に携わることを熱望していた。

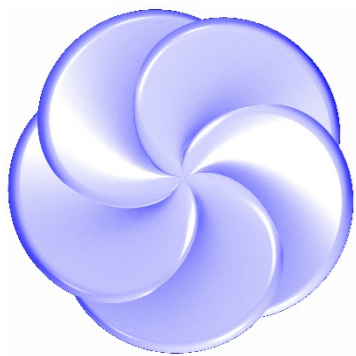
### ○コンセプト

- ・子どもたちが大きくなっても、この歌が座右の銘になるように
- ・入学式、卒業式をはじめ学校行事にしっかり寄り添えるように
- ・子どもたちだけでなく、保護者も歌いたくなるように
- ・自慢したくなるように
- ・校歌の枠に収まらない広がりがあるように



音源は完成次第、教育委員会ホームページに掲載します。

## 校章について



### 校章

### ○制作者 源田悦夫氏（九州大学名誉教授）

デジタルデザインを専門とし、ソウルオリンピック公式ポスターCG分野での制作支援をはじめ、文部科学省の振興分野人材育成事業などで数多くの業績を残している。  
西都小学校の校章も制作している。

### ○コンセプト

現実と仮想の世界の時代に、たくましく生き抜く能力としてDXを背景とした論理的思考能力が求められる。この校章は、西都小学校の校章を制作した際のプログラムの手続きを変えながら、同じコンセプトで制作した。さらに郷土の歴史や文化への興味と愛情を持ち、豊かな表現能力や多様な変化に対応できる人材を育成する、という願いを込めて制作した。

(※DX: Digital Transformation)

教育委員会ホームページに、会議資料を掲載していますのでご覧ください。

お問い合わせ・ご意見等はこちらへ

開校準備委員会事務局【教育委員会小学校教育課】

TEL: 711-4824 FAX: 733-5780 E-mail: el-education.BES@city.fukuoka.lg.jp

HP: [https://www.city.fukuoka.lg.jp/kyoiku-iinkai/tsuugaku/ed/shinsaito-kaikou\\_2.html](https://www.city.fukuoka.lg.jp/kyoiku-iinkai/tsuugaku/ed/shinsaito-kaikou_2.html)

西都 開校準備

検索

福岡市教育委員会HPのトップページ「サイト内検索」から「西都 開校準備」と検索すると簡単にアクセスできます。

## ○校歌歌詞

①  
友と歩む日々  
毎日が宝物  
希望溢れるこの町で  
きらめく夢を描こう

誰かのために頑張れる  
そんな人になるう  
辛い時も大丈夫  
仲間がいるから

晴れの日も雨の日も  
笑顔溢れる毎日に  
自然を愛し  
元気いっぱい  
ここ西都北で

②  
いつか大人になり  
今を振り返っても  
楽しかった 幸せだった  
そんな今を生きよう

一生懸命 頑張ることで  
道は広がってく  
大きすぎる夢だって  
叶えられるんだ

泣いた日も笑った日も  
感謝溢れる毎日に  
出会えた奇跡  
今日もありがとう  
ここ西都北で  
ここ西都北で

春の風に背中を押され  
夏の太陽 みなぎる力  
秋の色づき 思いを馳せて  
冬に気づく温もり

## 報告事項について

### ○通学路について

開校準備委員会事務局より、通学路について、西都北小学校周辺交差点の横断歩道設置に向け、福岡県警をはじめ関係機関と調整していることが報告されました。

### ○第1回学校説明会について

開校準備委員会事務局より、7月6日（水）に西都小学校にて開催された第1回学校説明会について、181名の保護者が参加され、教育目標や通学路の進捗状況について説明を行ったことが報告されました。

### ○新築工事進捗状況について

教育委員会施設課より、新築工事の進捗状況について説明があり、現在、校舎棟3階、体育館棟2階の工事が進められており、それぞれ12月に工事完了予定であることや運動場については、8月頃に着工し、令和5年2月頃に工事完了する予定であることが報告されました。